

令和7年11月8日

木枯らし1号が先日吹き、すっかり季節が変わったようです。長い夏の後あまり秋の気持ち良さを感じないまま冬になってしまうのかしら……と思います。

さて「つる」の練習、音取りも最後の部分に入りました。少し難しいとは思いますが、ハーモニーの重なりに加え、かけ合いの楽しさもあり、合唱としてとても魅力があります。がんばって覚え、楽しく合唱していきましょう。

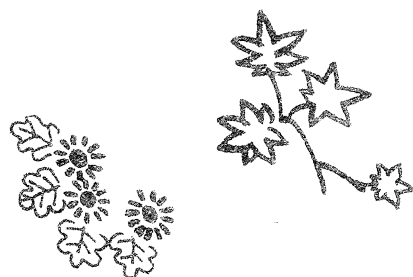
1. 日程

11月27日(木) ハート練習 1:00～ ソプラノ
2:00～ アルト

11月29日(土)

12月6日、

12月20日、



2. ハート練習について 12月27日(木) 午後

音程をしっかりとって歌えるように設定しましたので、ぜひご参加下さい。前半の受付1:00～はソプラノの班長さん、後半の受付2:00～はアルトの班長さんたちでお願ひします。

イスはソプラノが各自並らべ、アルトが片付けます。



この季節になると「第九」の演奏会の広告をよく目にします。実際に歌う方、また聴きにいく方もいらっしゃることでしょう。ところで日本で最初に第九が演奏されたのはいつかという点、1918年6月、徳島県鳴門市においてです。第1次大戦で捕虜となったドイツ兵が移送された「板東俘虜収容所」でのことでした。そこでは国際法が遵守され、ドイツ兵の誇りや権利が尊重されたそうです。楽しみや美しいものを作る自由も認められていた中で、彼らは楽団まで組織しました。そして日本で初めてベートーヴェンの第九・全楽章を演奏したのです。何だか感動的です。鳴門市には日独の文化交流がわかる遺産や施設があるそうです。